

ヒト由来アルギナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1572

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アルギナーゼ (EC 3.5.3.1、アルギニンアミジナーゼ、カナバナーゼ、L-アルギナーゼ、アルギニントランサミジナーゼ) は、マンガンを含む酵素です。この酵素によって触媒される反応は次の通りです: アルギニン + H₂O → オルニチン + 尿素。これは尿素回路の最終酵素です。すべての生命のドメインに普遍的に存在します。

別名 アルギナーゼ; アルギニンアミジナーゼ; カナバナーゼ; L-アルギナーゼ; アルギニントランサミジナーゼ; EC 3.5.3.1

製品情報

種	人間の肝臓
由来	E. coli
形態	3.2 M 硫酸アンモニウム
EC番号	EC 3.5.3.1
CAS登録番号	9000-96-8
分子量	35 kDa
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	390 U/mg タンパク質、1950 U/ml。
最適pH	10.0-11.0
最適温度	25-40 °C
単位定義	アルギナーゼの1単位は、30 °CおよびpH 8.3で1分間に1マイクロモルの尿素を生成するのに必要な酵素の量として定義されました。

保管・発送情報

保存方法 アルギナーゼは4 °Cで保存する必要がある、指定された通りに保存すれば最大3年間安定します。